

日本版 個人サンプリング法 A, C測定と比較

個人サンプリング法は作業者の顔の周りの気中の濃度測定で、広義の作業環境測定で、欧米の実測値 8 時間平均値の曝露限界比較評価の個人ばく露測定ではない。

作業環境測定 A 測定と個人サンプリング法（日本版個人曝露測定）C 測定の違い

	A 測定	C 測定
サンプリング	作業所を田植え式分割、1 辺 5-6mの交点に測定器を固定	同一の曝露の人達に着
	5 点 ≦	5 人以上全労働時間、 5 人未満：均等分割可能、2 時間 ≦
	10 分間	15 分間 ≦
評価	第一評価値・第二評価値を計算し、管理濃度と比較（ 欧米式（許容濃度やばく露限界値）ではない）	第一評価値・第二評価値を計算し、管理濃度と比較（ 欧米式（許容濃度やばく露限界値）ではない）

日本版評価値の統計的意味

第1管理区分	第1評価値<管理濃度	全検体の95%以上は管理濃度以下
第2管理区分	第2評価値<管理濃度<第1管理評価値	全検体の50%は管理濃度以下
第3管理区分	管理濃度<第2評価値	全検体の50%超えは管理濃度超え

日本版 個人サンプリング法 A, C測定と比較

参考：

個人曝露測定、欧米での8時間平均の実測曝露量と曝露限界 OEL との比較評価法：

X95 = 対数正規分布上側 95% (=AMx3 = 第1評価値)、

AM = 算術平均値 (=第2評価値)、

曝露比% = $AM / OEL \times 100$

管理区分	定義		簡易： 曝露比%	判定
1A	X95 < OEL	X95 < OELx0.1	0-3	優
1B		AM < OELx0.1	3-10	良
1C		OELx0.1 < AM	10-30	可
2A	AM ≤ OEL ≤ X95	AM ≤ OELx0.5	30-50	努力
2B		OELx0.5 ≤ AM	50-100	要低減措置
3	OEL < AM		100 <	緊急要低減措置